

## 参加してくださった皆様へ

2020年度より小学校～高等学校の各学校で「プログラミング教育」が必修化されます。2020年度からは小学生、2021年度からは中学生、と順次新たな学習をしていきます。

ということは2018年度に小学校6年生以下の子どもは学校で必ず「プログラミング教育」を受けるということです。小学生・保護者の方にとっては他人事ではないでしょう。中学生以上の生徒にとっても、「自分たちよりも下の学年の子たちは、自分たちが受けていない『プログラミング教育』を受けてくる」という意味では、もしかしたら脅威なのかもしれません。

この漠然として不透明な『プログラミング教育』。必修化されたからといって『プログラミング』という教科が新設されるわけではありません。すでにある教科の中で実践されることになっています。

ここではっきりしておきたいことは小学校のプログラミング教育はプログラマーの育成が目的ではないということ。では「プログラミング教育の必修化」で子どもたちはいったい何を学ぶのでしょうか。

その答えは「**プログラミング的思考**」です。プログラミング的思考とは、自分が意図する一連の動作を実現するために、どのような動きの組み合わせが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号や命令をどのように組み合わせたらいいのか、記号や命令の組み合わせをどのように改善していけば、より便利な動作に近づくのか、ということを論理的に考えていく力のことです。

IT先進国の米国ではすでに「IT」という概念そのものがなくなりつつあります。IT化が当たり前になり、IT無くして生き残っている企業は皆無に等しいからです。日本でもすでにその波が押し寄せ、どの業界でも**プログラミング的思考**の知識が求められる時代がやってくるのです。

社会の急速な情報化に対応できる能力を身につけるため、学校任せにしないで私たちと一緒に学びませんか？プログラミング的思考の教育は、お子さんが将来、どんな状況においても自分で生きていく力になると信じています。

よりよい未来のために、私たちと一緒に学びましょう！